

巻頭あいさつ

澤田弘行副代表

～「環境フォーラム湖東」のアクション～

F - NEWS

「湖東地域環境シンポジウム」終了!

環境シンポジウムの報告

会場の様子

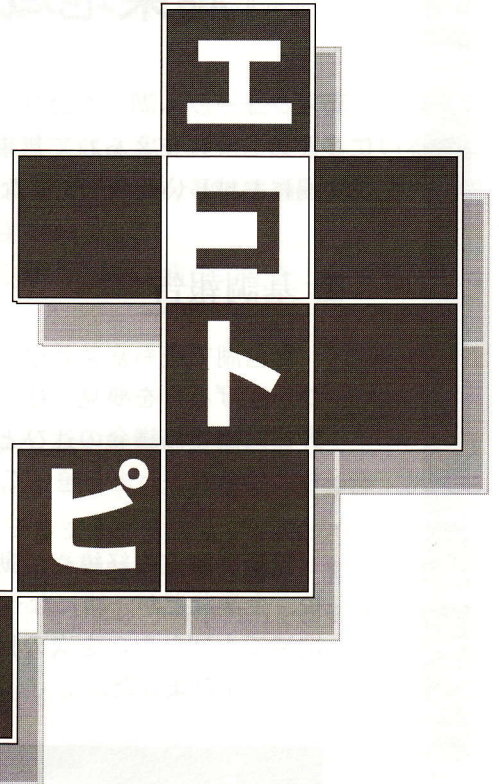
会員のすがお

会員団体の紹介

滋賀県自然観察指導者連絡会彦愛犬支部

燦電会 (太陽光発電者の会)

井戸端掲示板



巻頭あいさつ

■「環境フォーラム湖東」のアクション

環境フォーラム湖東は発足して半年余りの間に、2つのアクションを起こしました。

1つは9月5日(日)に滋賀県立大学で開催した「湖東地域環境シンポジウム」で、運営委員会を中心に計画され好評のうちに開催できました。もう1つは、子供たちを中心に協力参加いただいた、生き物マップ調査(セミの調査)です。調査結果が整理され、もうすぐ、皆様に報告できる日も近いものと思います。

「環境フォーラム湖東」が、湖東地域の人々に身近なフォーラムとして認識されるには、誰でも気軽に参加できるアクションをどのように起こしていくかにかかっています。出来るだけユニークで喜ばれるアクションプランを事務局までお知らせ下さい。もう1つ、フォーラムの情報収集と発信にその手腕がかかっています。私たち会員は一生懸命に頑張っています。



澤田 弘行 副代表

『湖東地域環境シンポジウム』終了！

環境フォーラム湖東を設立して初めての大きな事業となりました「湖東地域環境シンポジウム」。本当に多くの方々に支えられて無事に終了することができました。ご協力いただいたみなさん、そして、当日会場にお越しいただいたみなさん、本当にありがとうございました！

■ 基調報告

琵琶湖で最も富栄養化が進んでいるといわれる赤野井湾でいつか泳げる日を夢見て様々な活動を実施している、豊穰の郷赤野井湾流域協議会の辻ひとみさんから「みんなで考えよう私たちにできること」と題してお話をうかがいました。

協議会設立の経緯や活動についての説明を通して、住民や学校、企業などが一緒になって地域の現状を知ることの大切さや、地域で大切なものを次の世代に残していくためにすべきことについて学びました。

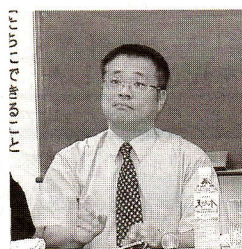


澤田副代表による開会の挨拶



湖東地域振興局副局長
園 博様よりご挨拶をいただきました

■ 活動報告



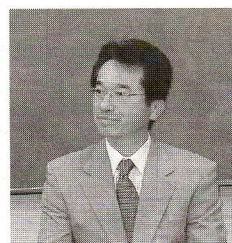
生ごみ処理機など環境機器システムの販売を行っているTMエルデ株式会社常務取締役の本江宗明さん。

有機質資源を地域循環させるためのポイントなどを報告していただきました。

「これからは『機械を買う』から『サービスを買う、利用する』時代になっていきます。」

愛東町平尾区長の森田耕作さん。平尾区にある3つの溜池の利用と保全を目指し、住民の力で改修していくために草刈りを行ったり、清掃活動を行う過程を報告していただきました。

他にも子どもも一緒になってカブトムシの幼虫のために寝床をつくる活動なども行っているそうです。





彦根市立稲枝北小学校からは原 雅之先生と2人の生徒さんより、空き缶回収や環境フェスティバルを行う環境委員会の活動内容や、フローティングスクールをきっかけにびわ湖に関する環境学習を総合的な学習の時間に行っていることなどを発表していただきました。

また、運動会でも空き缶などを使った種目を行い、地域から集め、運動会終了後に資源回収に回しているそうです。

彦根市環境課の小林重秀さん。平成11年3月の環境基本条例の制定、平成13年3月の環境基本計画および地域行動計画の策定や、平成14年9月のISO14001認証取得といった彦根市の取り組みのほか、彦根の生き物調査などを行っている快適環境づくりをすすめる会など、いくつかの環境団体の活動紹介をしていただきました。

「行政と市民が一緒に汗をかいて連携し、環境施策を展開していく。」



■ パネルディスカッション

各活動報告に熱が入り、パネルディスカッションの時間はほとんどなくなってしまいましたが、それぞれの立場からの意見交流がなされました。

お互いに協力し合うには、まずはお互いの取り組みや理念などをわちあひ、どんなことが一緒にできるのかを話し合うことが必要なのだと学びました。

コーディネーターを務めていただきました、草津湖岸コハクチョウを愛する会の松村 勝さん。コハクチョウを守ることが、「琵琶湖の環境を守ることになり、琵琶湖を守ることが、子供や孫の命を守ることになる。」という理念を持ち、草津湖岸の清掃や、コハクチョウの飛来調査、環境とコハクチョウの写真展などを開催しています。



■ 体験コーナー

交流センター前の広場では市民団体や企業による体験コーナーや、住民の方によるフリーマーケットなどたくさんの催しがありました。



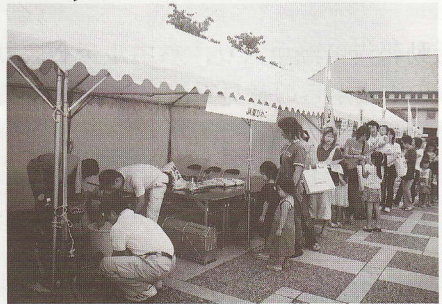
木工クラフトコーナー
何を作りましたか？



太陽光発電がいっぱい並びました。
曇り空でも良く動きます。



新鮮な果物や、ポン菓子、ブルギルのから揚げなど美味しいものがいっぱい。



やっぱり楽しいフリーマーケット。
いっぱいお店があって迷いました。



他にも温暖化のクイズや企業の取り組みなどなど
たくさんのコーナーがありました。

- 出展団体一覧
- | | |
|--------------------|------------------|
| 京セラ(株)滋賀ソーラー | 湖東農村活性化センター |
| 株式会社 平和堂 | 彦根市環境保全指導員連絡会議 |
| (有) あゆむ・くらし工房 | 地球温暖化防止地域活動グループ |
| (有) 山口表具太昌堂 | 湖東地域振興局森林整備課 |
| NPO 燦電会 (太陽光発電者の会) | リサイクルステーション運営委員会 |
| 滋賀県水産試験場 | (株) コクヨ工業滋賀 |
| J A 東びわこ | 総合案内所・環境フォーラム湖東 |

【スタッフの声】

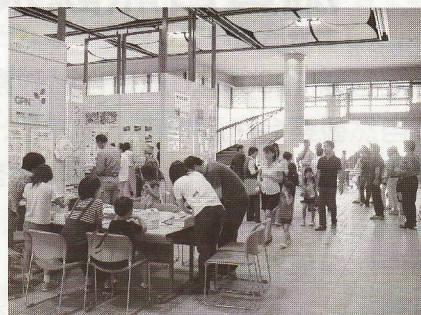
私たちの暮らしている湖東地域は山から湖まで多様で豊かな環境に恵まれています。各団体の日頃の取り組みなど、発表・展示をいただき有意義な一日でした。この豊かな環境をいつまでも大切に守り、よりよい環境づくりを目指す輪を広めるための『はじめの一步』をみんなで歩いていきましょう！

■ 市民団体の活動紹介

交流センターのなかでは、写真やパネルなどを使って、市民団体のみなさんが、普段の活動を紹介していました。

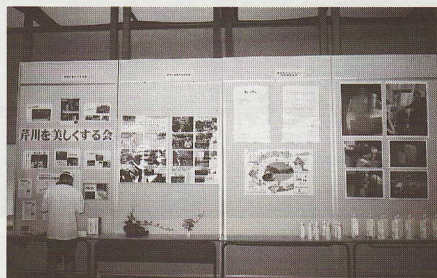


地域の人たちの熱い思いが
展示されています！



芹川、犬上川、宇曾川
それぞれに素晴らしい人たちが
見守っています

箱に絵を描いて自分だけの
ティッシュ箱作り。
大切に使ってね。



写真展も開催！？



スライドショーも
ありました。



■ 出展団体一覧

エコグループ・アイ	彦根地方气象台
環境学び舎 わのたね	愛のまちエコライフ文化推進会議
犬上川を豊かにする会	宇曾川水系を見守る会
滋賀グリーン購入ネットワーク	湖東地域振興局森林整備課
みずすまし推進協議会	芹川を美しくする会
快適環境づくりをすすめる会	草津湖岸コハクチョウを愛する会
滋賀県自然観察指導者連絡会彦愛犬支部	緑のサヘル

【出展者の声】

見に来てくださった方が多くはなかったですが、他の団体の方と交流するいい機会になりました。それぞれ個性のある展示や体験をしていて、今後の活動に取り入れていけたらなあと思いました。

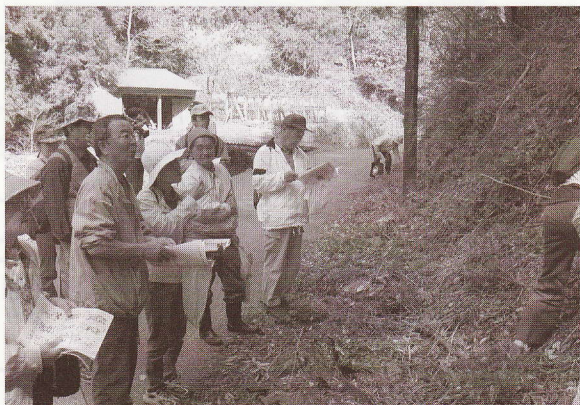
滋賀自然観察指導者連絡会彦愛犬支部

私たちは1980年、滋賀自然観察指導者連絡会（本部）の発足にともない彦愛犬支部として、自然観察会を彦根市、愛知郡、犬上郡地域を中心に実施してきました。

地域住民に呼びかけ自然観察会を実施することにより、ともに郷土の自然をありのまま観察し、自然の大切さや素晴らしさ、また、生態系のあり方などを考え、将来のための環境保全や自然保護を啓発しています。

毎月1回、身近な場所で観察会を行っています。子どもから大人までどなたでも自由に参加できます。観察会に参加して自然の神秘、不思議を感じてみましょう！

また、指導者として私たちと一緒に活動しませんか？専門的な知識は必要としません。自然が大好き！という方なら、どなたでも入会できます。お気軽にお問い合わせください。



■ これからの観察会

日 時	内 容	観察場所	集合場所
10月17日(日) 9:00~12:00	キノコの観察	雨壺山	彦根保健所
11月 7日(日) 9:00~12:00	芹川並木の観察	芹川並木	彦根西高校
12月 5日(日) 9:00~12:00	ドングリ・紅葉の観察	高宮池&赤坂山	多賀小学校

滋賀自然観察指導者連絡会彦愛犬支部
 支部長 西澤 一弘
 TEL 0749-37-3552

私たちのグループのホームページ
<http://www.ds-j.com/nature/watching/>

NPO 燦電会（太陽光発電者の会）の紹介

NPO 燦電会 代表 石崎 洋一

1. 会の目的と構成

NPO 燦電会は昨年2月に彦根市を中心として環境にやさしい太陽光発電設備の効率運転と太陽光発電普及のために活動する非営利市民任意団体（NPO）です。会員は①彦根市内ですでに太陽光発電を設置している者②自然エネルギーの活用に関心のある者③当会の活動に賛同(含、賛助)する者で、会員分類は普通と賛助会員（個人、法人）で構成され。現在の会員数は20名弱で発電設備設置率70%強です。

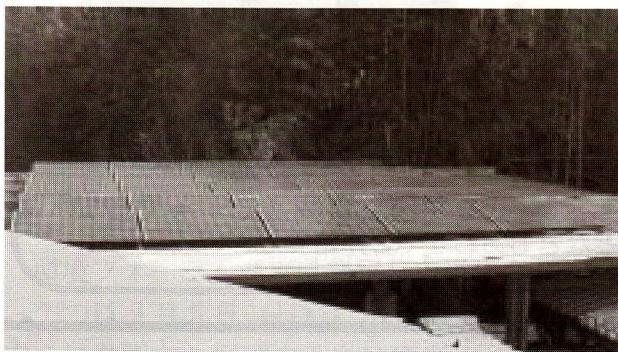
燦電会のネーミングは英語のサン(SUN：太陽)と、さん(燦：きらきら輝くさま)と電気の電をとって名付けたもので一度聞けば忘れられないすばらしい名前だと自負しています。

2. なぜ太陽光発電なのか

産業革命(18～19世紀末)以後、殊に第二次世界大戦(1945)以降世界的な化石燃料の大量消費で大気中の二酸化炭素(CO₂)の収支バランスが崩れ275ppm(1875)から350ppm(2000)まで急増しそれに伴って地球上の各地で29項目にのぼる温暖化現象が起こっていると米科学誌最新号(ナショナルジオグラフィック誌2004年9月号)で報告している。このまま、何の対策も打たないと今世紀末には最大で1メートルに達する海面上昇で世界で1億人が被害を被ると予測している。太陽光発電は太陽の光エネルギー(地上で1000ワット/m²)を電気に変換するもので、環境負荷ゼロで半永久的に利用可能(太陽の寿命は後50億年といわれる)です。四国全面積の太陽エネルギーは日本全国のエネルギー消費量をまかなえます。又、全地球1時間で全世界の年間消費量に相当します。

3. 活動結果

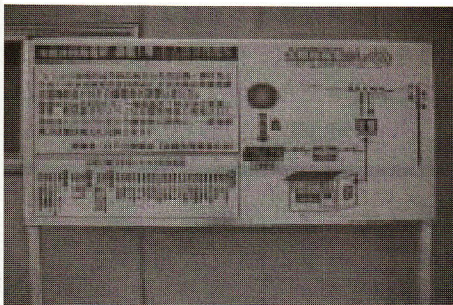
燦電会設立当時、県内に我が国最多の6カ所の市民共同発電所があるにもかかわらず彦根市内はゼロのため設置が第一目標。自然エネルギーの活用に関心される多数の市民の方々のご協力による出資（寄付）を仰ぎそれに公的補助金を加えて設置する方針であったが、幸いに昨年夏に創設された『平成15年度滋賀県非営利活動団体への太陽光発電施設設置支援事業』の補助金170万円に協賛頂いた方々からの出資と寄付の200万円を加えて総額370万円で出力5Kwのたんぼ発電所を設置し、今年3月1日に発電開始し8月末現在実績3,500Kwh。



たんぼ発電所発電モジュール200w×25枚＝出力5Kw

4. 市民共同発電所

市民共同発電所は現在国内で40ヶ所内8ヶ所が滋賀県内自然エネルギーを利用した発電所(風力を含む)を設置したいが、設置場所や資金事情で市民が共同で資金を出し合い場所を借りて設置するもので、発電した電気を売った収入で出資金を長期間かけて返還していく方法が主流です。たんぼ発電所では毎年出資金の約5%ずつ20年かけて返還する計画です。売電単価が上がれば短縮可能です。



啓発用掲示板

5. 会員を募集しています

詳細はホームページ <http://www.ex.biwa.ne.jp/~sunden/> をご覧下さい。

今春卒論のテーマを太陽光発電にした県立大生が卒業して学生会員が空席です。自然エネルギーに関心のある学生の入会を大歓迎します。

毎日使っている化石燃料は太古の太陽エネルギーの缶詰ですよ！！
大切に使いましょう。

■ 会員を随時募集中！！

環境フォーラム湖東では随時会員を募集しています。
子どもからお年寄りまでみんなで参加する生き物調査や、会員相互の情報交流会など自主的な活動を、住民、事業者、行政のパートナーシップで進めていきます。
環境問題に関心のある方々や環境活動を実践している団体・事業者の皆さんのご入会をお待ちしております。
ご不明な点は事務局まで問い合わせてください。

- 【入会申し込み】 随時
- 【入会方法】 下記事務局にご連絡ください
- 【年会費】 個人：1,000円 団体：2,000円

■ 団体会員が増えました

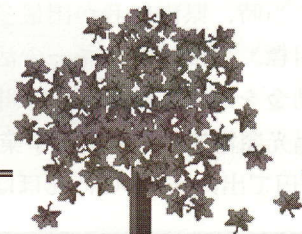
5つの団体が新しく会員になっていただきましたのでご紹介します。

- ・彦根雨壺山・護林会
- ・滋賀県自然観察指導者連絡会彦愛犬支部
- ・豊郷町消費学習グループ
- ・犬上川を豊かにする会
- ・快適環境づくりをすすめる会

みなさんと一緒に活動できる日を楽しみにしています！

■ セミ調査終了

たくさんの皆様のご協力をいただきました、セミ調査が終了いたしました。
今後は結果をまとめていきますので、結果がまとまるまでしばらくお待ちください。
本当にありがとうございました。



■ 会員のみなさんへ

環境フォーラム湖東ではみなさんからの情報を募集しております。
イベント情報や普段の活動の様子などを情報交流誌『エコトピア』または、『フォーラム通信』に掲載していきますので、「ぜひ他の人にも伝えたい！」という情報がございましたら、下記事務局までご連絡ください。
また、こんな情報をぜひ載せて欲しいといったことなどもあわせてご連絡ください。

環境フォーラム湖東 事務局

- 〒522-0071
- 彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内
- TEL 0749 - 27 - 2255
- FAX 0749 - 27 - 1688
- URL <http://www15.ocn.ne.jp/~foramkot/>
- E-mail dc43@pref.shiga.jp

■ あとがき

フォーラム設立後最初の大きな事業を乗り越えました。せっかく出会えたつながりをもっと太く、強いものにしていき、一緒にもっと大きなことができたらいいなと思います。そのためにも、もっとおたがいを知っていきたいです。(山田)

- 発行 環境フォーラム湖東
- 編集責任 環境フォーラム湖東広報部会
- 平成16年10月発行